

高小だより

令和4年10月号

1年の半分が過ぎました。

9月が終わり、4月からスタートした今の学年の半分が過ぎました。

「心豊かで、たくましく、夢をもつてのびゆく子どもの育成」を学校目標、「たくましい子」「かんがえる子」「やさしい子」をめざす子ども像、「みんな笑顔！」を合言葉に子ども、保護者、地域の方、教職員が力を合わせて学校生活を過ごしています。

気候もよくなり、「力いっぱい運動場でたくましく」友達と一緒に汗を流して、体育や遊びができるようになってきました。また、学習面でも2学期に入り、「友達と一緒に考え」たり、タブレットを使ったりしながら、毎日真剣に楽しく学んでいます。

引き続き「コロナウイルス感染予防」をしながら教育活動を行ってまいりますので、ご家庭や地域でもよろしくお願いたします。

<学校・家庭の連携>

【参観日（分散開催） 9月16日（金）】



日程を変更して、9月の授業参観を行いました。参観者の人数を分散させるために5校時と6校時の2時間に分散して行いました。今回は全クラスで道徳の授業を見ていただきました。学年の発達段階に応じた内容で、どの子も真剣に心の学びを行うことができました。また、家族の方に見てもらえるということで、多くの子どもが張り切って学習をしていました。

保護者同士で密にならないようご配慮をいただき、本当にありがとうございました。

＜やさしさいっぱい・縦割り班活動＞

【縦割り班遊び 9月20日（火）】



高屋小学校では、1年生～6年生で「縦割り班」をつくり、6年生を中心に色々な活動をしています。これまで、コロナウイルス感染防止のために延期されていましたが、今回「縦割り遊び」が行われました。6年生が低学年のことを考えて企画・運営を行い、学校中に子どもたちの笑顔があふれ楽しい声が響き渡りました。この日は天候にも恵まれ、運動場、体育館や教室を会場にドッジボール、鬼ごっこ、ハンカチ落としなどを楽しんだようでした。どの班も、上級生は下級生に優しく接しており、高屋小学校の素晴らしい伝統だと感心しています。

＜外部人材による専門的な指導＞

【陸上競技の学習 9月21日～10月4日】



4～6年生が、西村慎次郎先生（高屋町在住）に陸上競技の専門的な指導を受けています。今回はハードル走の学習に取り組んでいます。足の運び方など走り方の基本から始まり、低いハードルを使っの跳び方のフォームや歩数についてなど、スモールステップで丁寧な指導に子どもたちは目をキラキラさせて取り組んでいます。子どもたちは練習を重ねていく中で、どんどん上達していき、スムーズなフォームを身に着けています。それぞれがハードル走を学び、「人生のハードル」も乗り越えていく「たくましい子」に育ててほしいと願っています。